

## 小・中・高等学校体育担当者連絡協議会が行われました

9月6日の相双地区を皮切りに、9月15日まで県内7地区において小・中・高等学校体育担当者連絡協議会が行われました。この連絡協議会では、体育・保健体育の授業の充実について、東京女子体育大学の末永祐介先生の講義を聞きました。その後、各校種間の連携や取組についての協議、小学校部会、中学・高校部会に分かれての体力向上や効果的な運動部活動の運営等についての協議などが行われました。

春に行った体力向上担当者研修会とはまた違った内容で、「授業の充実」や「運動部活動の指導」などについて、校種を超えて学校体育を担当している先生方同士考えることができました。春と秋の研修会を踏まえ、県内の児童生徒が楽しく体育や保健体育の授業に取り組んだり積極的に体を動かしたりして、体力の向上や健康づくりへの意識を深めていくことを願っております。

### 【内容】

- 講義 「これからの学校体育と体力・運動能力の向上について」  
講師：東京女子体育大学講師 末永祐介 様

- よい体育の授業とは…教科の目標や内容が効果的に実現され、授業を直接受けた子どもたちから高く評価された授業。
- 子どもにとって、何が難しいのか…にんじんが嫌いでも食べられない子どもに、生のにんじんをそのままは出さない。食べやすいように調理してから出すはず。授業もそれと同じで「素材を習得しやすいように再構成」することが大事。

- 研究協議 「運動の楽しさと習慣化を目指した小中高の連携・取組について」

#### <協議の記録から>

- 生涯体育につながるように、日頃からいろいろな運動、種目に取り組ませている。
- 「する・見る・支える」…運営やボランティアなど、あらゆるスポーツへの関わり方を授業の中に取り入れるようにしている。

- 講義・協議

- ・ 小学校部会 「体力向上推進計画書の活用について」
- ・ 中・高部会 「効果的な運動部活動の運営について」

- 体力向上に効果があった取組
  - ・ 投力向上のために、的当てを作成した。・隙間の時間の活用（掃除の後にダンス）
- 効果的な運動部活動の運営
  - ・ 基本的に日曜日は休養日としている。・休養日があっても競技力の低下は感じられない。

- DVD視聴をとおしてスポーツ事故防止について考える

- ・ 「体育活動における頭部、頸部の外傷～発生時の対応～」
- ・ 「スポーツ活動中の歯・口のけがの防止と応急処置」

日本スポーツ振興センターから出されているDVDを視聴しました。頭頸部外傷の発生メカニズムについて理解するとともに、歯・口のけがをしないためにできること、けがをした時の応急処置について理解を深めることができました。

